



ICT教育の成果と 菩提寺地先の開発を問う



湖南 WAKU² プロジェクト ● 柴田 栄一 議員

GIGAスクール構想の実現について

問 タブレット端末配布の成果や課題について

答 ICT活用スキル体系表に基づき、児童生徒の端末活用による学習経験の保障に取り組んでいます。

問 やむを得ず学校に登校できない児童生徒等へのICTを活用した学習指導について

答 家庭で授業の様子を視聴できるようにルールの整備も含めて準備を進めています。

問 タブレット端末活用に伴うペーパーレス化の取り組みについて

答 タブレット端末のメリットは大きいですが、『書く』事にも留意したいと考えています。ICT活用推進委員会の中で働き方改革について取り組んでまいります。

問 デジタル教科書の導入について

答 学習者用デジタル教科書は現在、実証段階であり、文部科学省の動向を注視し、導入を検討してまいります。

菩提寺地先の開発について

問 現在の進捗状況について

答 事業者が住民説明会での意見や、行政機関など関係所管との協議を受け、地区計画制度を活用したまちづくり事業について、適正な誘導が図れるよう指導してまいります。

問 開発に伴い予測される問題点と行政の対応について

答 安全で安心な生活環境が確保でき、適切な計画となるよう事業者へ指導します。

問 周辺住民への周知と理解について

答 事業者から市へ地区計画が提出されましたら住民の皆さまに対して説明会を開催します。



中学校部活動の地域移行について



会派 チーム湖南 ● 松原 栄樹 議員

問 学校教育の一環として行われてきた中学校の部活動が、来年度から令和7年度にかけて地域移行されますが、これから取り組むべき課題と方針は

答 部活指導者、受け入れ団体、活動場所の確保、指導者の身分保障・報酬、責任の所在、生徒の活動時の保険や移動手段、保護者の費用負担等々が課題です。

アンケータやコオーディネーターの選出、保護者・地域への説明を行い、地域クラブを立ち上げ、生徒の声も大事にして学校と協議をしながら進めます。

地下道(アンダーパス)について

問 近年豪雨による地下道(アンダーパス)で冠水災害が起こっています。地下道(アンダーパス)の現状と問題点および対策は

答 現在市内には、13カ所のアンダーパスがあります。国の管理は5カ所で8カ所が市の管理です。内7カ所で排水ポンプ施設を設けています。通常の雨ですと、排水ポンプが自動稼働しますが、豪雨や停電、ゴミつまりが発生しますと冠水することになります。豪雨の最中や降雨後におけるアンダーパスの利用者に対する注意喚起の意識づけが大切だと思っております。

ポンプ施設の定期点検の実施とともに、停電対策を含め豪雨時の注意喚起を促すための「冠水表示ライン」の設置を検討します。

問 水位センサーにより、バルーンが膨らみ通行を遮断する「エア遮断機」の導入は

答 研究しつつ検討します。